

2014年3月期

ソフト99コーポレーション

決算説明会

2014年5月28日

注意事項








- 本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。
- この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私共はこのような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私共の現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

株式会社 ソフト99 コーポレーション

創 立	昭和29年（1954年）10月28日
資 本 金	2,310,056,000円
代 表 者	代表取締役社長 田中 秀明
従業員数	194名（2014年3月31日現在）
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

関係会社一覧



社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の 所有割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪市中央区	482百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪市中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	役員の兼任
(株)ソフト99オートサービス 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)くらし企画 	東京都千代田区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸

事業セグメントの分類



ファインケミカル	カー用品（一般用・業務用）	 (株) ソフト99コーポレーション  (株) 上海速特九九化工有限公司
	家庭用品等製品	
	海外事業	
ポーラスマテリアル	産業資材部門	 アイオン(株)
	生活資材部門	
サービス	生活用品企画販売事業	 (株) 暮らし企画
	オートサービス事業	 (株) ソフト99オートサービス
	教習事業	 アスモ(株)
不動産関連	温浴事業	 (株) ソフト99コーポレーション
	不動産賃貸事業	

業績の概要（ファインケミカル）



【消費者向けカー用品事業】 (+114百万円)

- 自動車ボディお手入れ製品は、夏場や年末商戦で販売苦戦も、新製品の拡販に努め、微減にとどめる。(▲5)
- 「ガラコ」は梅雨時期に販売苦戦も、ゲリラ豪雨や秋雨対策アイテムの効果的な投入により販売増加。(＋92)
- 自動車補修用製品「99工房」の販売も増加。(＋27)
(消費者の自費修理意識の高まり)
- タイヤチェーンの販売が計画を上回る。(＋30)
(2014年2月の大雪の影響)



2014年3月発売
(+92) 「スムーズエッグマイクロホイップ」



「ガラコ」は「ゲリラ豪雨」「秋雨対策」の
拡販が奏功

業績の概要（ファインケミカル）

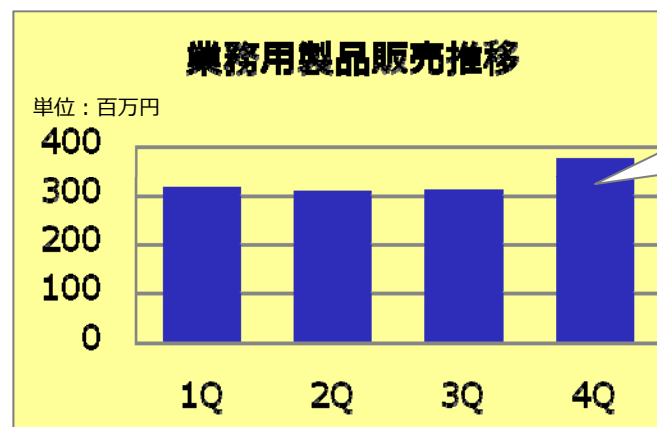


【業務用カー用品事業】 (+178百万円)

- 増税前の新車駆け込み需要の影響を受け、自社ブランドやOEMのコーティング剤の販売が増加。



業務用製品
「G'ZOXリアルガラスコート」



4Q売上高
378百万円

- 輸入車販売店への営業活動強化により、新規得意先を開拓。

【家庭用品事業】 (▲66)

- 主力のメガネお手入れ製品は、新製品の発売により販売増加。
- 家庭用クリーナー等の販売が伸びずに苦戦。

業績の概要（ファインケミカル）



【海外事業】（+113百万円）

【東アジア（中国）】（+89）

- 日本からの輸出は順調に推移。
- 反日デモの影響で低迷していた現地法人の販売も回復。

【東アジア（中国以外）】（+25）

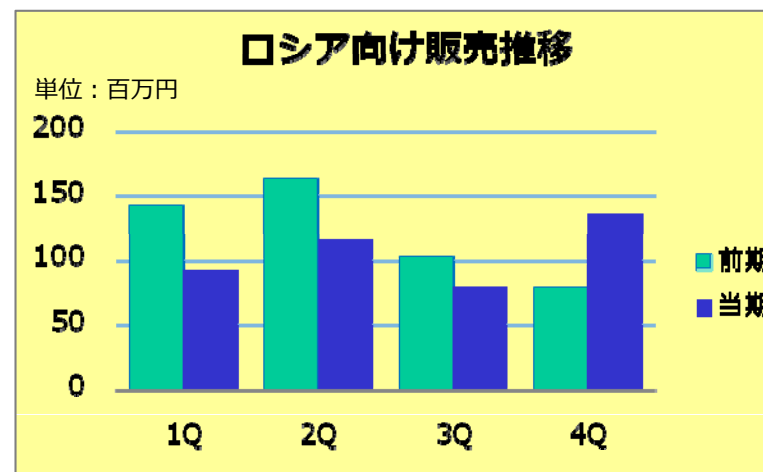
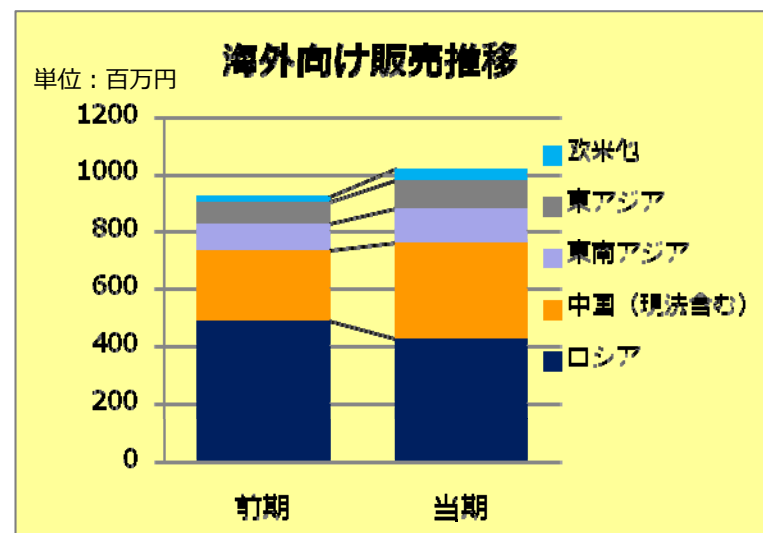
- 韓国、台湾向け販売が増加。

【東南アジア】（+25）

- 円安傾向が続き、タイ、マレーシア向け販売が増加し、順調に推移。

【ロシア】（▲62）

- 現地代理店の在庫調整の影響で減収も終盤には受注回復。



ファイネケミカル (前年同期比)



(単位：百万円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	10,279	10,648	+369	+3.6%
(ボデーケア)	2,154	2,149	▲5	▲0.2%
(ガラスケア)	3,010	3,102	+92	+3.1%
(リペアグッズ)	2,195	2,222	+27	+1.2%
(業務用)	1,135	1,313	+178	+15.7%
(家庭用品等)	655	589	▲66	▲10.1%
(海外事業)	926	1,039	+113	+12.2%
(その他 ※)	200	232	+32	+16.0%
売上総利益	4,673	4,962	+289	+6.2%
粗利益率 (%)	45.5%	46.6%	+1.1	-
営業利益	915	1,202	+287	+31.4%
営業利益率 (%)	8.9%	11.3%	+2.4	-
使用資産	12,743	11,647	▲1,096	▲8.6%
営業利益/使用資産 (%)	7.2%	10.3%	+3.1	-

(※) その他には樹脂容器企画販売を含んでおります。

業績の概要（ポーラスマテリアル）

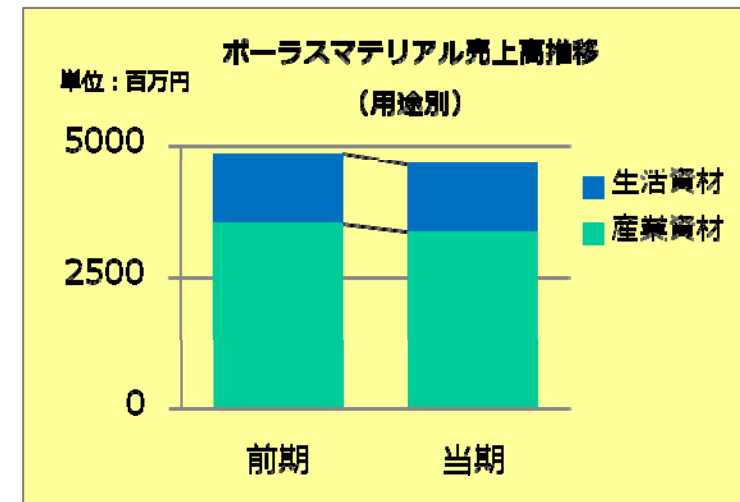


【産業資材部門】（▲163百万円）

- 半導体業界向け製品販売は、国内向けはほぼ前期並み。
海外向けは競争激化により苦戦。
- HDD業界向け販売は、前期開拓した海外得意先向け販売が増加。

【生活資材部門】（▲15百万円）

- 国内では、前期に導入したネッククーラーの流通消化が進まずに販売減少。
- 海外では自動車用製品がアメリカ・インドネシア向けに増加するも、国内販売の減収をカバーするには至らず。



ポーラスマテリアル (前年同期比)



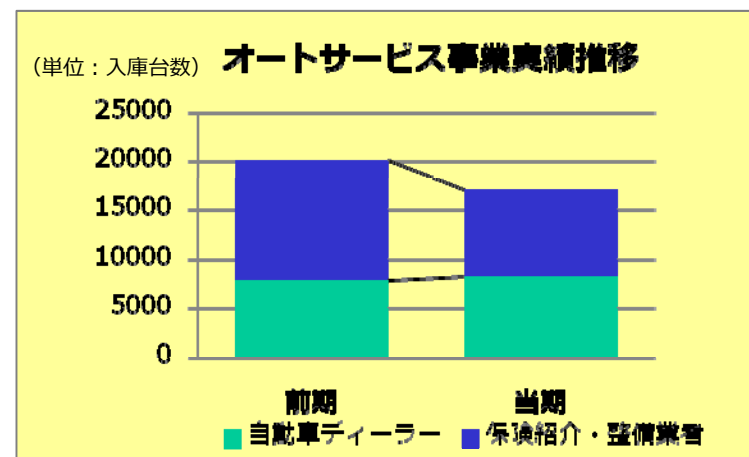
(単位：百万円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	4,848	4,669	▲179	▲3.7%
(産業資材)	3,518	3,355	▲163	▲4.6%
(内輸出高)	1,876	1,763	▲113	▲6.0%
(生活資材)	1,330	1,315	▲15	▲1.1%
(内輸出高)	796	870	+74	+9.3%
売上総利益	1,241	1,288	+47	+3.8%
粗利益率 (%)	25.6%	27.6%	+2.0	-
営業利益	478	485	+7	+1.5%
営業利益率 (%)	9.9%	10.4%	+0.5	-
使用資産	6,796	6,746	▲50	▲0.7%
営業利益/使用資産 (%)	7.0%	7.2%	+0.2	-

業績の概要（サービス）



【オートサービス事業】（▲180）

- 自動車ディーラーからの钣金在庫は増加。
（修理単価の下落を得意先開拓による台数増加でカバー）
- 保険会社からの紹介在庫が大幅減少。
（損害保険の料率改定により、ユーザーの節約志向が高まる）



【自動車教習事業】（+14）

- 稼働バランス向上に努めたことで増収。
（普通免許の好調な稼働に加え、特殊車両や大型二輪の講習が増加。）

【生活用品企画販売事業】（▲144）

- インターネット通販は増加したものの、生協向け販売の苦戦により減収。

サービス (前年同期比)



(単位：百万円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	5,195	4,887	▲308	▲6.0%
オートサービス	2,502	2,324	▲178	▲7.1%
自動車教習所	816	830	+14	+1.7%
生活用品企画販売	1,876	1,732	▲144	▲7.7%
売上総利益	1,131	969	▲162	▲14.3%
粗利益率 (%)	21.8%	19.8%	▲2.0	-
営業利益	251	9	▲242	▲96.4%
営業利益率 (%)	4.8%	0.2%	▲4.6	-
使用資産	3,871	4,062	+191	+4.9%
営業利益/使用資産 (%)	6.5%	0.2%	▲6.3	-

業績の概要（不動産関連）



【不動産賃貸事業】 (+20)

- 当社保有物件の入居者が増加。高い入居率維持で順調に推移。
- 新東京支店への移転に伴い、旧東京支店（東京都千代田区）の修繕費等の一過性費用が増加。



旧東京支店
(東京都千代田区)

【温浴事業】 (▲56)

- 催事やオリジナル飲食メニューの提供により客単価は改善も、夏場の集客減少により減収。



不動産関連 (前年同期比)



(単位：百万円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	1,429	1,393	▲36	▲2.5%
温浴事業	1,171	1,115	▲56	▲4.8%
不動産賃貸	257	277	+20	+7.8%
売上総利益	356	185	▲170	▲48.0%
粗利益率 (%)	24.9%	13.3%	▲11.6	-
営業利益	296	154	▲142	▲48.0%
営業利益率 (%)	20.8%	11.1%	▲9.7	-
使用資産	8,429	9,691	+1,262	+15.0%
営業利益/使用資産 (%)	3.5%	1.6%	▲1.9	-

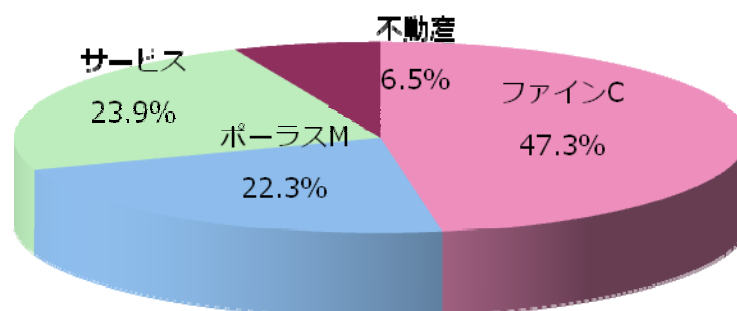
セグメント情報 (1/2)



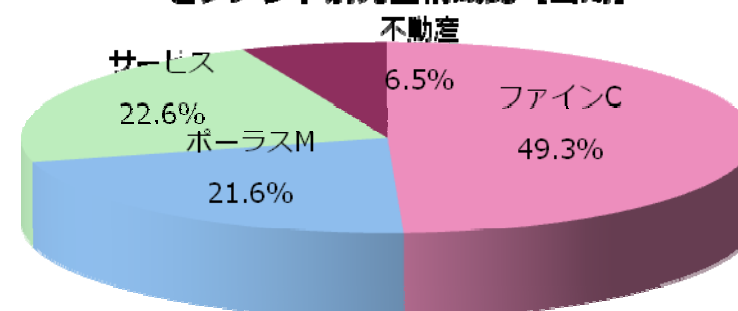
(単位：百万円)

売上高	2013年3月期	2014年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	10,279	10,648	+369	+3.6%
ポーラスマテリアル	4,848	4,669	▲179	▲3.7%
サービス	5,195	4,887	▲308	▲5.9%
不動産関連	1,429	1,393	▲36	▲2.5%
合計	21,752	21,599	▲153	▲0.7%

セグメント別売上構成比【前期】



セグメント別売上構成比【当期】



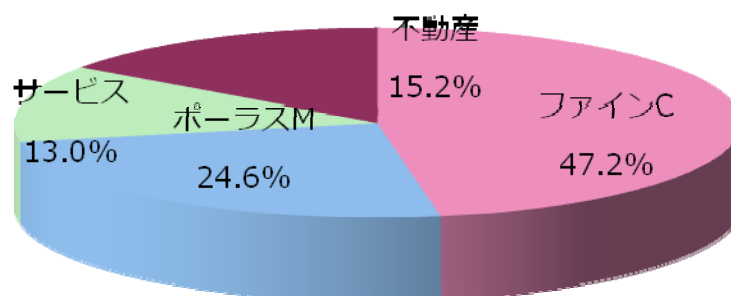
セグメント情報 (2/2)



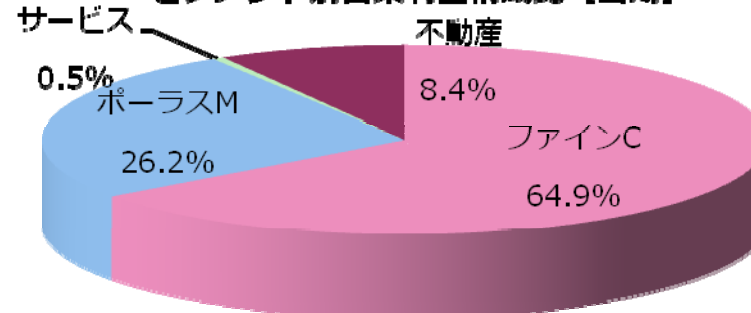
(単位：百万円)

営業利益	2013年3月期	2014年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	915	1,202	+287	+31.4%
ポーラスマテリアル	478	485	+7	+1.5%
サービス	251	9	▲242	▲96.4%
不動産関連	296	154	▲142	▲48.0%
合計	1,955	1,862	▲93	▲4.8%

セグメント別営業利益構成比【前期】



セグメント別営業利益構成比【当期】



連結業績 (前年同期比)



(単位：百万円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	21,752	21,599	▲153	▲0.7%
売上総利益	7,430	7,406	▲24	▲0.3%
売上総利益率 (%)	34.2%	34.3%	+0.1	-
販売費及び一般管理費	5,475	5,544	+69	+1.3%
営業利益	1,955	1,862	▲93	▲4.8%
営業利益率 (%)	9.0%	8.6%	▲0.4	-
経常利益	2,098	2,091	▲7	▲0.3%
税金等調整前当期純利益	2,102	1,908	▲194	▲9.2%
当期純利益	1,352	1,112	▲240	▲17.8%
1株当たり当期純利益 (円)	62.50	51.43	▲11.07	▲17.7%

要約連結キャッシュフロー



(単位：百万円)	2013年3月期	2014年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,058	2,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲506	329
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲293	▲400
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	1,259	2,494
現金及び現金同等物の期首残高	7,081	8,340
現金及び現金同等物の期末残高	8,340	10,835

減価償却費	748	789
設備投資額	1,163	848

連結ハイライト指標 (前年同期比)



(単位：百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減
総資産	45,347	46,534	+1,187
純資産	40,195	41,179	+984
自己資本比率 (%)	88.6%	88.5%	▲0.1
ROA (経常利益/総資産)	4.6%	4.6%	-
ROE (純利益/純資産)	3.4%	2.7%	▲0.7
1株当たり当期純利益 (円)	62.50	51.43	▲11.07
1株当たり配当 (円)	15.50	17.00	+1.50
配当性向 (%)	24.8%	33.1%	+8.3

要約連結貸借対照表 (前期末比)



(単位：百万円)

	13年3月末	14年3月末	増減額		13年3月末	14年3月末	増減額
流動資産	16,337	17,829	+1,492	流動負債	2,966	2,962	▲4
現金及び預金	9,645	11,643	+1,998	買入債務	1,031	1,026	▲5
売上債権	3,353	3,122	▲231	未払法人税等	361	447	+86
有価証券	467	401	▲66	未払金・未払費用	1,005	999	▲6
棚卸資産	2,332	2,089	▲243	その他	568	489	▲79
その他	537	572	+35	固定負債	2,185	2,392	+207
固定資産	29,010	28,705	▲305	負債合計	5,152	5,355	+203
有形固定資産	22,435	22,463	+28	純資産	40,195	41,179	+984
無形固定資産	240	190	▲50	株主資本	39,576	40,386	+810
投資その他の資産	6,333	6,050	▲283	その他包括利益累計額	618	792	+174
資産合計	45,347	46,534	+1,187	負債純資産合計	45,347	46,534	+1,187

ソフト99コーポレーション 中期経営計画



- 本プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し・期待・判断・計画あるいは戦略が含まれております。
- この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動・景気動向・天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私たちはこのような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

前中期経営計画の振り返り (1/3)



■ 中期経営計画『Spiral Up “Final”』総括

(計画期間 2011年4月～2014年3月)

【全体総括】

- ・高付加価値製品・サービスの提供による「利益の伴う事業拡大」を目指して営業活動に努めたものの、ポーラスマテリアルおよびサービスセグメントの事業環境悪化により連結売上高・営業利益ともに最終年度は目標を下回る結果となった。
- ・同様に資本効率の改善についても課題を残した。

【ファインケミカルの販売総括】

- ・一般向け自動車用品においてはガラコワイパーが順調に販売を拡大し、当社の新たな収益源へと成長。しかし、シェア拡大余地のあるタイヤお手入れや芳香剤等その他新分野については継続的な収益獲得には至らず今後の課題となる。
- ・業務用自動車用品においては、「G'ZOXブランド」を中心としたコーティング剤の得意先開拓が進み収益拡大。さらに新表面改質システム「フレイムボンド」が発売になり、将来の新市場創出に向けた足掛かりをつかむ。
- ・家庭用品については、新製品投入と販売拡大が継続せず、今後の課題となる。
- ・海外事業においては、アジアおよびロシアを中心とした各地域で販売が拡大。ベトナムやミャンマー等への販売も開始し、好調に推移。

【ポーラスマテリアルの販売総括】

- ・産業資材部門においては半導体産業向け製品が競合台頭による競争激化のため苦戦。
- ・生活用品部門においても新製品開発が遅れて伸び悩み。「新しいこと」への取り組みとしての新用途開発は、医療用途等で新分野への一定の足掛かりはついたが、収益の柱となるには至っていない。

【サービス・不動産関連の販売総括】

- ・オートサービス事業の東京新工場の竣工遅れや損害保険制度改定による事業環境の悪化等により、最終年度にて目標を大きく下回る。
- ・不動産については温浴、不動産ともに安定収益を確保。

前中期経営計画の振り返り (2/3)



■ 中期経営計画『Spiral Up “Final”』最終年度実績

(単位：百万円)	前中計末	当初計画	修正計画 (2013/5)	実績	前中計末比	修正計画比
売上高	20,884	23,000	23,000	21,599	+715	▲1,401
ファインケミカル	9,837	10,600	10,800	10,648	+811	▲152
ポーラスマテリアル	4,502	5,400	5,200	4,669	+167	▲531
サービス・不動産関連	6,544	7,000	7,000	6,281	▲263	▲719
営業利益	1,904	2,300	2,100	1,862	▲42	▲238
ファインケミカル	832	1,060	1,060	1,202	+370	+142
ポーラスマテリアル	475	700	500	485	+10	▲15
サービス・不動産関連	586	540	540	163	▲423	▲377
営業利益率 (%)	9.1%	10.0%	9.1%	8.6%	▲0.5	▲0.5
経常利益	2,076	2,450	2,250	2,091	+15	▲159
当期純利益	1,104	1,500	1,400	1,112	+8	▲288

前中期経営計画の振り返り (3/3)



■ 中期経営計画『Spiral Up “Final”』最終年度経営指標

	前中計末	計画	実績	前中計末比	計画比
営業利益率	9.1%	10.0%	8.6%	▲0.5	▲1.4
営業利益の伸長率※	28.9%	20.8%	▲2.2%	▲31.1	▲23.0
ROA (経常利益/総資産)	4.9%	5.5%	4.6%	▲0.3	▲0.9
ROE (純利益/純資産)	3.0%	3.7%	2.7%	▲0.3	▲1.0
総資産回転率	0.46	0.50	0.46	-	▲0.04

(※) 前中計末からの伸長率

【計画未達の主要因】

- 2013年5月に全体計画（営業利益以下）を修正。全体計画は未達もファインケミカル事業のみが当初計画を達成（修正計画には届かず）。
- ポーラスマテリアルやサービス事業の減収と、「利益の伴う事業拡大」に課題を残したことにより、営業利益額・率とも当初計画及び修正計画に届かなかった。
- 営業利益で計画未達となったことで、ROAについても計画未達となった。
- 最終年度は特別損失の計上による当期純利益の減少もあり、ROEも減少する結果となった。

中期経営計画“SOFT99 Drive”概要



■ 計画策定の目的

- 新たな市場への挑戦と収益拡大に向けて、この計画がグループ全体の推進力（Drive）となるべく策定。

■ 計画期間

- 2014年4月～2017年3月（3カ年計画）

■ 経営理念：「生活文化創造企業」

- 当社創業以来不朽の、かつグループ全体において共通の理念

■ 経営ビジョン：未来の『あたりまえ』を発見する

- 顧客の目線を常に意識し創意工夫をもって、いつのまにか世の中で『あたりまえ』となるような製品・サービスを創出し続けることで、事業の拡大を目指す。

■ 経営基本方針

前中期経営計画「Spiral Up “FINAL”」で積み残した課題を解決する趣旨から、継続して経営方針を掲げた。

- 成熟市場（国内・先進国）に向けた、新しい高付加価値製品・サービスを提供
- 成長市場（海外新興国）に積極的に参入し、事業の拡大を図る。
- 未来の『あたりまえ』を発見するため、新技術・サービスノウハウ蓄積と新用途開発の推進
- 社会の要請に応え、正当な評価を受ける企業集団を目指す。

中期経営計画“SOFT99 Drive”概要



■ セグメント別事業戦略：ファインケミカルの戦略方針

～全体方針：業務用自動車用品・家庭用品・海外販売の売上比率上昇を目指す～

➤ 自動車用品（一般用）

- ✓ ボディケア分野において、更なる高機能/高付加価値製品の投入
- ✓ ガラスケア分野のトップブランドである「ガラコ」シリーズへの新製品投入
- ✓ 芳香剤製品及び各種車内グッズの新製品投入により、車内アメニティの分野の販売拡大を目指す

➤ 自動車用品（業務用）

- ✓ 自動車コーティング周辺商材強化や自動車以外のコーティング対応による新顧客開拓
- ✓ 表面改質処理剤「フレイムボンド」の活用による新顧客開拓

➤ 家庭用品

- ✓ 『メガネのシャンプー』周辺商材強化によるメガネお手入れ市場の確立
- ✓ カー用品販売ルートの得意先とのパイプを活かした家庭用DIY補修用品の展開
- ✓ メガネお手入れ市場に続く、特徴ある新製品の開発

➤ 海外販売

- ✓ 世界各地域における「ローカライズ戦略」の強化
 - ・ 中国：現地営業/開発人員の配置による市場深耕
 - ・ ロシア・東南アジア：各国専用製品の投入、現地ライセンス生産検討による販売拡大
 - ・ 北米：現地営業の配置による営業強化・販売拡大

中期経営計画“SOFT99 Drive”概要



■ セグメント別事業戦略：ファインケミカルの事業展開イメージ



(単位：百万円)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)	2017年3月期 (計画)	2014年3月期比増減
売上高	10,648	10,800	12,200	+1,552
営業利益	1,202	1,100	1,480	+278

中期経営計画“SOFT99 Drive”概要



■ セグメント別事業戦略：ポーラスマテリアルの戦略方針

【産業資材部門】

- 技術の高度化によるハイテク分野市場でのシェア拡大
 - ・ 新ハイテク分野における洗浄・研磨関連新製品の開発
(サファイア基盤研磨、ウエハー裏面研磨、アルミ筐体研磨等)
 - ・ 半導体洗浄・HDD研磨等の既存ハイテク分野での更なる性能向上ニーズへの対応
- 既存技術の横展開による販売拡大
 - ・ スワブ・拭き取り用途の開発
 - ・ 医療用途の横展開による拡大

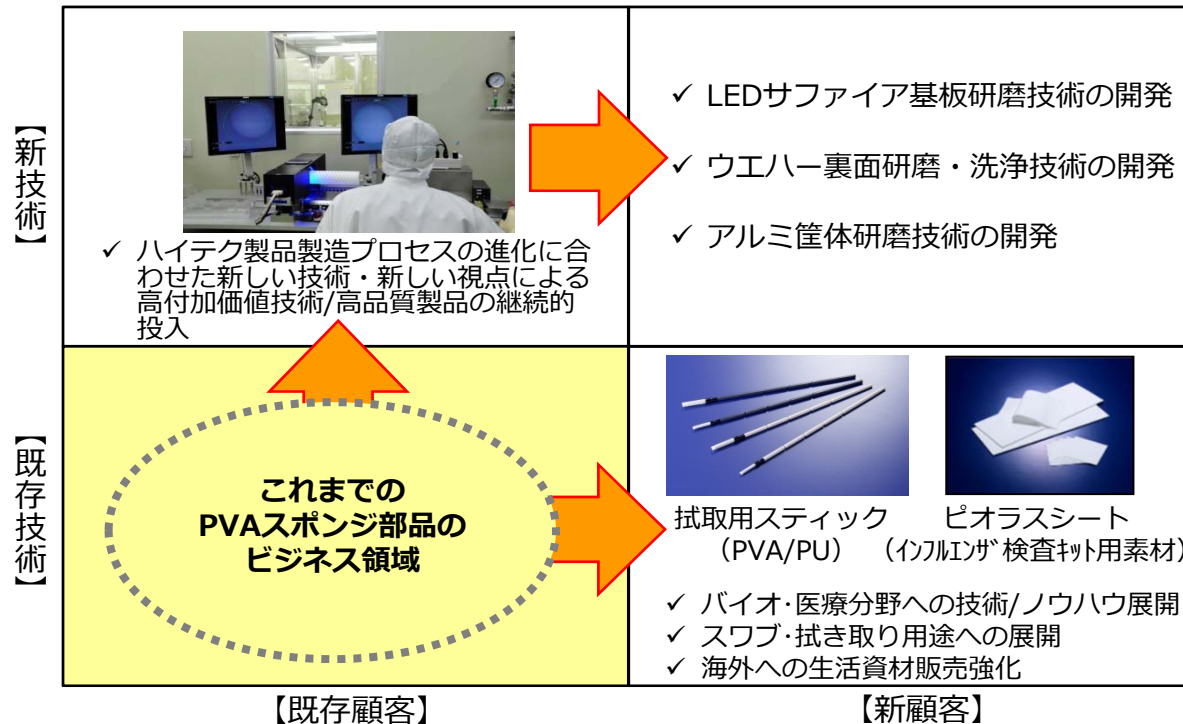
【生活資材部門】

- 自動車分野、DIY分野、ペット分野における新製品投入
- 中東・アフリカ・インド・中南米へのアプローチ強化
- ファインケミカルとの商品開発ナレッジ共有による新製品開発

中期経営計画“SOFT99 Drive”概要



■ セグメント別事業戦略：ポーラスマテリアルの事業展開イメージ



注：写真はすべてイメージです。

(単位：百万円)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)	2017年3月期 (計画)	2014年3月期比増減
売上高	4,669	4,700	4,950	+281
営業利益	485	430	530	+45

中期経営計画“SOFT99 Drive”概要



■ セグメント別事業戦略：サービス・不動産の戦略方針

【サービス・不動産関連事業】

- オートサービス事業
 - ・ 自動車メイクアップ等、新たな美装サービス分野の販売拡大
 - ・ 東京新工場の本格稼働による新規顧客の取り込み拡大
- 教習事業
 - ・ 自動車教習以外のサービス強化を図り、適性診断認定等、新たな運転診断サービスの展開を目指す。
- 生活用品企画販売事業
 - ・ ソフト99グループWEB事業のノウハウを集約・蓄積し、WEBルートによる販売を強化する。
- 不動産賃貸事業および温浴事業
 - ・ 保有物件の安定稼働（不動産賃貸）。既存店舗のサービス強化と効率的運営（温浴事業）。



(単位：百万円)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)	2017年3月期 (計画)	2014年3月期比増減
売上高	6,281	6,500	6,850	+569
営業利益	163	270	390	+227

中期経営計画“SOFT99 Drive”計数計画

- 連結売上240億円、営業利益率10%、総資産回転率0.49が3年後の目標となる。
- M&A等による新事業獲得で売上50億円、営業利益5億円の増加を目指す。

(単位：百万円)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)	2017年3月期 (計画)	増減	当社が 目指す姿	増減
売上高	21,599	22,000	24,000	+2,401	29,000	+7,401
ファインケミカル	10,648	10,800	12,200	+1,552		
ポーラスマテリアル	4,669	4,700	4,950	+281		
サービス・不動産関連	6,281	6,500	6,850	+569		
営業利益	1,862	1,800	2,400	+538	2,900	+1,038
ファインケミカル	1,202	1,100	1,480	+278		
ポーラスマテリアル	485	430	530	+45		
サービス・不動産関連	163	270	390	+227		
経常利益	2,091	1,950	2,550	+459	3,000	+909
当期純利益	1,112	1,150	1,500	+388	1,800	+688
ROA (経常利益/総資産)	4.6%	4.1%	5.2%	+0.6	5.7%	+1.1
ROE (純利益/純資産)	2.7%	2.7%	3.4%	+0.7	4.1%	+1.4
総資産回転率	0.46	0.47	0.49	+0.03	0.55	+0.09

中期経営計画“SOFT99 Drive”株主還元

■ 株主還元方針

- 『安定・継続的な配当』を基本方針とし、総還元性向30%を目処とした株主還元政策を実施する。
- 内部留保については、将来の事業拡大と経営体質強化のための投資に活用。

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)	2017年3月期 (計画)	増 減	当社が 目指す姿	増 減
当期純利益 (百万円)	1,112	1,150	1,500	+388	1,800	+688
1株当たり 当期純利益 (円)	51.43	53.14	69.31	+17.88	83.18	+31.75
1株当たり 年間配当金 (円)	17.00	16.50	18.50	+1.50	24.00	+7.00
配当性向 (%) 連結ベース	33.1%	31.1%	26.7%	▲6.4	28.9%	▲4.2
年間配当額 (百万円)	370	360	400	+30	470	+100
純資産配当率 (%)	0.9%	0.9%	0.9%	-	1.1%	+0.2

長時間に亘り、
ご清聴ありがとうございました。